



令和3年度 特別支援教育セミナー

「発達に遅れのある子どもが主体的に学ぶために」

講師 東京福祉大学 立松英子 先生



多くの先生方に参加いただきました



オンラインでの講義は資料も見やすく話も聞きやすいと好評でした

7月28日(水)、特別支援教育セミナーが開催されました。新型コロナウイルス感染症のまん延状況が落ち着かないこともあり、Zoomによるオンライン開催となりました。小学校、中学校、特別支援学校から多くの先生方にご参加いただきありがとうございました。

障害のある子どもの指導では、子どもの学びの世界を理解することが必要です。今回の講師である立松先生は、太田ステージ評価の発達段階に応じた支援に適した教材教具を提案してくださいました。

子どもの認知発達を捉えるために大切な視点や、個に応じた教材・教具の活用方法についての立松先生の講演は、これからの実践に活かしていくうえで、とても大切な視点になったことと思います。

今回セミナーに参加することができなかった先生方で、特別支援学級を初めて担当される先生方や、教材作成についてお悩みがある先生方は、今回の資料等をもとに相談に応じることもできますので、ぜひお声掛けください。

<参加者の声>



- イメージから運動へ、運動から発語へと心掛ける大切さについて学ぶことができた。また、子供と大人の認知空間や見え方が異なることや、「～できるから～できよう」と勘違いしてしまうことが学校現場では起きていることを知り、しっかりと子供の実態を捉え、実態に即した提示の仕方や教材を用意することが大切であると感じた。今後は、これらのことを意識して過ごしていきたいと思う。
- 言葉を獲得する前の段階の子どもの発達の状況や認知の発達等について再確認することができました。大人の感覚で教材を提示したり、言葉で指示したりしがちですが、子どもにあった教材であれば、言葉での指示がなくても取り組むことができることを改めて教えていただき、今後、子どもの発達段階をしっかりと確認して、教材があっているかどうか確認することが必要と思いました。

アンケートに寄せられた質問・ご意見と併せて、立松先生や係からの返答を載せましたので確認いただけたらと思います。

- Q. 太田ステージを本校の児童にやってみたいと思いましたが全くやり方が分かりません。立松先生が「著書を読んでください」とおっしゃっていたので、本を検索しました。いくつか出てきたのですが、どの本が太田ステージの本か分かりませんでした。教えていただきたいです。
- Q. 今回、太田ステージ評価に大変興味をもちました。小学校でも取り入れたいのですが、参考書籍もたくさんあるので、中でもおすすめの書籍グッズなどがありましたら教えてください。今年度の予算で買えるものから購入したいと思っています。

*この二つの質問への回答は裏面をご覧ください。



*前ページの質問への回答です。

A. ジアース教育新社から出ている『発達支援と教材教具』のシリーズ4冊全てに操作法が載っています。

『発達支援と教材教具Ⅰ』：p15～p17、『発達支援と教材教具Ⅱ』：p25

『発達支援と教材教具Ⅲ』：p103、『発達支援と教材教具Ⅳ』：p34～p35 いずれも定価1,700円

★鳥の絵課題の解説とシートが載っているⅢが一番よろしいかと思えます。

原著は日本文化科学社の「太田昌孝・永井洋子編著：自閉症治療の到達点第2版」になります。こちらは少々お高いですが（定価6,000円）、理論からしっかり勉強されるのであればこちらを読まれることをお勧めします。個別学習のマニュアルも出ております（太田昌孝・永井洋子編著 認知発達治療の実践マニュアル 日本文化科学社 定価6,000円）。

Q. 筋ジストロフィー症など「見る」に問題はないが「動き」に課題がある児童に対してのステージ評価と使用すべき教材は何かあるか教えていただきたいです。

A. 筋ジストロフィーの方が「見ることに問題がない」とは思えませんので、よく観察されることをお勧めします。（筋の弱さや機能不全は、眼球を動かす筋にも影響するからです。また、講演でも申しあげたように、「見えたら（一般の大人と同じように）わかる」わけでもありません）。

また、筋ジストロフィーの状態像は様々ですので、「動きに課題がある」だけでは状態像がわかりません。指さしもできない状態であれば、視線を指さしと同様に考えて判断します。知的障害が重い方では、絵のシートを凝視するかどうかで、シンボル機能（言葉の機能）の有無を判断します。

教材についても、どのくらいの動きが可能なのかがわからないと、申し訳ないのですが具体的な説明は困難です。

Q. 可能であれば、セミナーで使用された資料をデジタルベースで頂けると、見直しもできて大変助かります。ご検討いただけますとありがたいです。

A. 本講演会は講師の意向によりライブ配信のみでしたので、講演会の記録ビデオはございません。参加者にお渡しできる資料につきましては、参加者に事前に送付した資料データのみとなります。



立松先生より、参加者のお顔を見ながらの講演で大変良かったというお話がありました。ご協力ありがとうございました。



教育相談等について

就学や進学に向けた教育相談、学校見学、授業体験などは、随時、個別に受け入れておりますが、新型コロナウイルス感染症のまん延状況によっては、校内の立ち入りを制限させていただくこともあります。これらを検討している方につきましては、早めに相談いただくことをおすすめします。



講演でも話題にあがりました太田ステージ評価用具については、インターネットで検索すると見つかります。

【評価用具に関する問い合わせ先】
「特定非営利活動法人 银杏の会」
E-Mail : office@gin-nan.org



山梨県立あけぼの支援学校

〒407-0046

韮崎市旭町上条南割3251-1

TEL : 0551-22-6131

E-mail : shien@akebonoy.kai.ed.jp

URL : <http://www.akebonoy.kai.ed.jp>

（地域支援担当：小松延子 麻川恵太 黒木ゆかり 今澤亜希）

